

目 次

読者のために	6
I 誤差を最小にする観測の組合せ理論	7
II 誤差を最小にする観測の組合せ理論・補遺	55
III 円錐曲線で太陽のまわりを回る天体の運動理論	92
IV Pallas の軌道要素についての研究	114
V 観測の精密さの決定	128
VI 確率計算の実用的幾何の問題への応用	137
VII クロノメーターによる経度の決定	143
VIII Ramsden 式天頂儀による観測から Göttingen と Altona の天文台の間の緯度差を決定すること	150
序 論	150
1 観測された星	152
2 観測	153
3 緯度差に関する結果	159
4 Seeberg 天文台の緯度決定	178
訳者あとがき	183